

三者の立場に立つこと、而して其の目的及び事業は(一)労働者の教育並かに訓練等に努力し、そのために或は新聞雑誌の発行、講演會の開催等となりて、労働者の知識及び能力の啓發増進を圖り、(二)労働者關係の諸問題に就き内外の狀勢を調査し、その解決の資に供し、(三)労働紹介の中央機關たる役目を乞ひ、且つ各地に於ける労働紹介の機關を斂括せらるゝめ、(四)労働紛議に對する仲裁の勞を取つため適當なる機關を設け、(五)主たる各都市に支部を置き、労働者の保護後援、その子弟の教育、住宅の周旋等の事業を爲さしむるにある。斯かる原則に基き、床次内相の慫慂は濫澤男爵等の熱心なる活動と相俟つて、労働協調機關の設立は着々とその實現に歩を進めるに至つた。

然るに床次内相、濫澤男爵等を中心とする労働問題解決のための民設機關の設立運動の報一度が傳はると、日本工業俱樂部に於ては中島久萬吉氏を委員長とする調査委員會を設けてこの問題を審議した。その結果、同年五月理事長團琢磨氏以下の評議員出席の下に調査委員會の提出せる「信愛協會」設立案を承認し、床次内相にその意見を具申した。其の内容とするところは、各方面の聲出により基金最低一千萬圓程度の財團法人信愛協會なるものと設立し、資本家、労働者及び政府のいづれにも超越した獨立機關として、資本と労働との調和を圖らんとすべしとあつた。而して、その目的とするところは、  
「事業主並に労働者の自覺を促し、協同偕和の實を擧げしめ且つ各種社會的事業の調査とその實行又は助成をな